

複式第5・6学年 社会科学学習指導案

Ⅲ組 5年 男子8名 女子8名
6年 男子8名 女子8名 計16名
指導者 藤崎 智大

1 小単元 わたしたちのくらしと水産業 源頼朝と武士の世の中

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

(第5学年)

子どもたちは、自然環境に適応しながらくらし
ている人々が工夫や努力をしていることをとらえ
てきている。

そこで、本小単元では、我が国の水産業の様子
について追究する活動を通して、水産業は国民の
食生活を支える重要な役割を果たしており、そこ
に従事する人々の工夫や努力によって営まれている
ことについてとらえさせる。また、地図や統計
資料などを活用し、水産業の特色や自分たちの生
活との関連を考える力や調べたことや考えたこと
を表現する力を高めることをねらいとしている。
さらに、問題意識をもって我が国の水産業につ
いて追究し続けようとしたり、我が国の水産業の発
展を考えようとしたりする態度を育てようとする
ものである。

このような学習は、我が国の稲作の特色や稲作
に従事する人々の工夫や努力を追究する学習へと
発展していくものである。

(2) 指導の基本的な立場

我が国は、豊富な水産資源に恵まれ、生産量、
消費量ともに世界有数の国である。水産業に従事
する人々による漁獲高の向上や資源の保護の工夫
や努力、運輸の発達により、水産物を安定して日
本各地に届けられるようになっている。一方で、
資源保護等、解決が求められる諸問題もある。

そこで、水産業が国民の食生活を支えているこ
とを具体的にとらえさせるために、我が国の水産
業の特色や従事する人々の工夫や努力、生産地と
消費地を結ぶ運輸の働きについて取り上げる。

そのために、まず、子どもたちに食生活におけ
る水産物や魚の消費量を追究する活動を設定し、
我が国の水産業の特色について追究したいという
意欲を高めたい。

次に、予想を基に追究計画を立てさせ、「水産業が
さかんな地域」「人々の工夫や努力」「運輸方法」の柱
で追究させる。その際、資料を活用して調べたこと
を基に、我が国の水産業の特色や役割について、事
象同士を比較したり、関連付けたりして考えさせ
ていく。さらに、新たな気づきや疑問を基に、追

(第6学年)

子どもたちは、京都に都が置かれた頃に日本風
の文化が起こったことについてとらえてきている。

そこで、本小単元では、源平の戦いや鎌倉幕府
の政治、武士のくらし、元との戦いについて追究
する活動を通して、源頼朝が鎌倉に幕府を開き、
武士による政治が始まり、全国的に勢力を広げて
いったことをとらえさせる。また、年表や絵図、
文書等を活用し、歴史上の主な事象や人物の働き
の背景や役割を考える力や調べたことや考えたこ
とを表現する力を高めることをねらいとしている。
さらに、問題意識をもって我が国の歴史や伝統に
ついて追究し続けようとしたり、それらを大切に
しようとしたりする態度を育てようとするもので
ある。

このような学習は、室町に幕府が置かれた頃の
建造物や絵画に代表される室町文化を追究する学
習へと発展していくものである。

平家が、藤原氏に変わって政治を行うようにな
ったが、源平の戦いを経て、源頼朝が鎌倉の地に
幕府を開いた。頼朝は、「御恩」と「奉公」の関
係で武士を従え、幕府は全国的に力を広げていっ
た。その後、幕府は、日本に服従を求めてきた元
を退けるも、戦った武士たちに恩賞を与えること
ができず、武士との主従関係はくずれた。

そこで、武士による政治が始まったことを具体
的にとらえさせるために、源平の戦いや鎌倉幕府
の始まり、元との戦いを取り上げ、追究させる。

そのために、まず、武士が登場し、貴族に変わ
って力を広げていった事実から、武士の世の始ま
りにかかわる人物の働きや当時の世の中の様子
について追究したいという意欲を高めたい。

次に、予想を基に追究計画を立てさせ、「源平の
戦い」「鎌倉幕府の政治」「元との戦い」の柱で追究
させる。その際、資料を活用して調べたことを基
に、歴史的事象の意味や背景について、事象同士
を比較したり、関連付けたりして考えさせてい
く。さらに、この過程で得た考えをまとめさせる

究意欲を高めたい。

このような学習を通して、自らの問いを追究する楽しさを味わいながら、我が国の産業発展を考えようとする態度を高めることになる。

なお、教師の直接指導を効率よく両学年にできるようにするために、指導過程を学年別にずらして組み合わせる。また、複式学級の間接指導時の話し合いを充実させるために、ガイド学習を行う。

(3) 子どもの実態 (調査人数及び調査方法 第5学年8名 第6学年8名 質問紙法)

この学級の子どものたちの小单元にかかわる見方や考え方は次の通りである。

第5学年	第6学年
1 主な水産業の種類 ※複数回答 とる漁業(8) そだてる漁業(3)	1 鎌倉時代で知っている人物 ※複数回答 源頼朝(7)、北条時宗(5)、源義経(4)、 平清盛(3)、北条政子(3)フビライ・ハン(1)
2 主な漁場 ※複数回答 近く(6)、川(1)、外国(1)	2 鎌倉時代の出来事 ※複数回答 争い(6)、幕府成立(5)、元寇(4)、源平合戦(3) 承久の乱(1)
3 水産業に従事する人々の工夫や努力 ※複数回答 たくさん採れる場所をさがす(6)、網を使う(6) みんなで協力する(4)、朝早く出る(2)	3 武士による政治が始まったわけ 武士の力が高まったから (5) 武士同士で協力したから (2) いくさで貴族を倒したから (1) 貴族の政治がうまくいかなかったから(1)
4 価格の決まり方 ※複数回答 大きさ(8)、鮮度(5)、味(4)	4 資料活用能力 必要情報の読み取り (8) ○全体的傾向をとらえる (7) 資料を関連付けての読み取り(6) ○必要な資料の選択 (7)
5 水産業の役割 水産物をとる(7)、くらしをささえる(1)	
6 資料活用能力 必要情報の読み取り (7) ○全体的傾向をとらえる (5) 資料を関連付けての読み取り(4) ○必要な資料の選択 (6)	

子どもたちは、生活経験の中で、水産業の種類や漁場、人々の工夫や努力について、漠然としたイメージをもってはいるが、水産業と自然環境と関連付けて具体的にはとらえられてはいない。価格については、運送費等の費用と関連付けてとらえられていない。また、水産業とくらしの関連に気付きながらも、食生活を支える役割に実感してはいないと考える。また、資料活用能力については、複数の資料を関連付けて読み取りが不十分なのは、明確な観点をもち読み取ったり考えたりできていないためだと考える。

(4) 指導上の留意点

以上のことを踏まえ、指導に当たっては、次のようなことに留意したい。

- ア 水産業の食生活における役割に気付かせ、「魚はどのようにとられ、自分たちに届けられるのだろうか。」という問題意識をもたせるために、魚の消費量や寿司ネタを提示し、様々な種類の水産物を多く食べていることをとらえさせるとともに、種類ごとの漁法について話し合わせる。そして、学習問題に対する予想を基に、具体的な追究計画を立てさせる。
- イ 我が国の水産業の特色を具体的にとらえさせるために、「水産業がさかんな地域」「水産業に従事する人々の工夫や努力」「運輸方法」の柱で追究したことを話し合わせる。そこで、まず、水産業が自然環境とかかわりをとらえさせるために、水産業のさかんな地域同士を比較させる。次に、生産を高めるための漁法や養殖の仕方をとらえさせるために、従事する人々の工夫や努力を考えさせる。その際、育てる漁業、水産資源の保護、育成を図るという重要な役割を果たしていること考えさせる。そして、運輸の働きについてとらえさせるために、消費者の需要にこたえた運ぶ工夫を考えさせる。その際、価格

中で、新たな問題意識をもたせたい。

このような学習を通して、自らの問いを追究する楽しさを味わいながら、我が国の歴史や伝統を大切にしようとする態度を養うことになる。

子どもたちの多くが、鎌倉時代の代表的な人物として、源頼朝や源義経、平清盛等をあげている。子どもたちは、歴史関係の本等から、大まかであるが、人物と世の中の出来事と結び付けてとらえていると考える。しかし、武士による政治の始まった理由については、具体的な事実を基に考えていないため、経緯や原因まではとらえられていない。また、資料活用能力については、絵図や年表などの資料を基に考えたことを、根拠や解釈を示しながら学習してきたことで、身に付きつつある。

- ア 「武士の登場により世の中はどのように変わっていったのか。」という問題意識をもたせるために、武士の館の想像図や源平合戦の頃の勢力図を基に、貴族から武士へと勢力が移行したことによる世の中の様子を話し合わせる。そして、学習問題に対する予想を基に追究計画を立てさせる。
- イ 武士の政治が始まったことを具体的にとらえさせるために、「源平の戦い」「鎌倉幕府の政治」「元との戦い」の柱で追究したことを話し合わせる。そこで、まず、源平合戦の様子から、源頼朝が貴族の政治を踏襲し政治を行っていた平家を滅ぼし、鎌倉幕府を開いたことをとらえさせる。次に、鎌倉と地方をつなぐ政治の仕組みをとらえさせるために、頼朝がどのような武士を従えたのかを考えさせる。さらに、元との戦いによって強い主従関係の基、国難に立ち向かうが、その結果、幕府と武士の信頼関係が崩れていったことをとらえさせるために、元との戦いの様子やその後の武士の思いについて考えさせる。

は生産や運輸の費用とかかわりがあることについて考えられるようにする。

ウ 追究した結果、これからの我が国の水産業の在り方について考えさせ、その立場と理由を話し合い、吟味する活動を設定する。

エ 間接指導時においては、考えや考え方の分からないところを問い返す「問い返し方」を発揮させるために、互いの考えを交流する場を設定し、自分の考えとその根拠を話し合わせる。

3 目 標

- | | |
|--|--|
| <p>(1) 我が国の水産業の特色について関心をもち、意欲的に追究することができる。</p> <p>(2) 我が国の水産業の特色について、水産業とわたしたちの暮らし、水産業と自然環境を関連付けながら考え、説明することができる。</p> <p>(3) 我が国の水産業の特色について、地図や統計資料などから読み取り、文や絵図でまとめることができる。</p> <p>(4) 水産業に従事する人々が、自然環境を生かすなど様々な工夫や努力をして生産したり、新鮮さを保ちながら輸送したりして、国民の食生活を支えていることをとらえることができる。</p> | <p>(1) 鎌倉時代の様子やそこにかかわる人物について関心をもち、意欲的に追究することができる。</p> <p>(2) 武士による政治が始まったことについて、時代背景やそれぞれの歴史的事象を関係付けて考え、説明することができる。</p> <p>(3) 鎌倉時代の様子やそこにかかわる人物について、絵図や年表資料などを活用して必要な情報を読み取り、構造的にまとめることができる。</p> <p>(4) 武士による政治が始まったことや、源頼朝のつくった鎌倉幕府が国を支配する政治体制を確立したこと、元との戦いでは幕府は全国の武士を集め戦うが、その結果、主従関係が崩れていったことをとらえることができる。</p> |
|--|--|

4 指導計画(第5学年10時間、第6学年7時間)(◎は重点的に教師がかかわる時間)

過程	主な学習活動(第5学年)	重点化	主な学習活動(第6学年)	過程
知る	1 魚の消費量や寿司ネタを基に、調べたいことや考えたいことを話し合い、学習問題を設定する。	◎	前小単元	広げる
調べる	2 学習問題について予想し、調べる内容や方法について計画を立てる。①		1 武士が台頭してきた過程を基に、調べたいことや考えたいことを話し合い、学習問題を設定する。	つかむ・立てる
	3 「水産業がさかんな地域」「水産業に従事する人々の工夫や努力」「運輸方法」の追究の柱で一人調べをする。②	◎	2 学習問題について予想し、調べる内容や方法について計画を立てる。①	
	(前時の続き)「水産業がさかんな地域」「水産業に従事する人々の工夫や努力」「運輸方法」の追究の柱で一人調べをする。③		3 「武士の始まり」「鎌倉幕府の政治」「元との戦い」の追究の柱で一人調べをする。②	調べる
	4 水産業の盛んな地域を調べる。④	◎	4 武士の起こりと源平の争いについて調べる。③	
	5 とる漁業に従事する人々の工夫や努力について調べる。⑤		5 源頼朝が目指した武士中心の政治について調べる。④	
	6 養殖漁業に従事する人々の工夫や努力について調べる。⑥(本時)		6 元軍との戦いが幕府や御家人に与えた影響についてを調べる。⑤(本時)	知る
	7 栽培漁業に従事する人々の工夫や努力について調べる。⑦	◎	7 単元の学習問題をまとめ、これまでの学習をふりかえりまとめる。⑥	広げる
	8 魚の価格の決まり方や運輸方法について調べる。⑧	◎	8 鎌倉時代の様子についての歴史新聞を書き、交流する。⑦	調べる
まとめる	9 学習問題について、これまでの学習をふりかえりまとめる。⑨	◎	次小単元(第1時)	つかむ
広げる	10 これまでの学習を基にして、これからの水産業について話し合う。⑩	◎	次小単元(第2時)	調べる

5 本 時(第5学年: 5/10、第6学年: 5/7)

(1) 目 標

垂水のカンパチ養殖に従事する人々の工夫や努力を追究する活動を通して、養殖漁業は自然環境生かしながら、安全、環境、おいしさなどを考えた様々な工夫や努力が行われていることをとらえることができる。

(2) 本時の展開に当たって

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、カンパチの生育条件と錦江湾の水温とを関連付けて、錦江湾がカンパチを生育するのによい自然条件であることとを伝えさせるために、「たくさん魚がいる中で、なぜ、錦江湾でカンパチを養殖しているのだろうか。」と問い、錦江湾月別水温のグラフを提示し、錦江湾で養殖している理由を話し合わせる。

ウ 追究した結果、事象に対する見方・考え方を高め、基礎的・基本的内容の定着を図るために、追究してきて分かったことや考えたことを新聞形式で絵図や文でまとめ、互いに交流させる。

元軍の戦いやその影響について追究する活動を通して、幕府と武士の関係と元との戦いとを関連付けて考えることで、御恩と奉公で結び付いていた幕府と武士の信頼関係が崩れていったことをとらえることができる。

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、幕府と武士の関係と元との戦いとを関連付けて、主従関係が崩れ幕府が衰退していったことをとらえさせるために、「恩賞を手に入れることができなかった武士は、どのように思ったのだろうか。」と問い、武士の思いを類推させる。

教師の具体的な働きかけ	主な学習活動（第5学年）	位置	主な学習活動（第6学年）	教師の具体的な働きかけ
④ ポスター（垂水カンパチ養殖業） ○ 問いを焦点化させるために、垂水の養殖業の宣伝ポスターを提示し、「垂水では、なぜカンパチの養殖が盛んなのだろうか。」と問い、「養殖漁業に従事する人々が工夫や努力をしているのではないのか。」という問題意識をもたせる。 ● 養殖漁業に従事する人々の工夫や努力をとらえさせるために、小黒板に記述した自分の考えを交流させ、分類させる。その際、互いの考えの根拠を意識させ話し合わせる。(①) ⑤ 文（カンパチの生育条件） ⑥ グラフ（錦江湾月別水温） ○ 錦江湾がカンパチを生育するのにより条件であることをとらえさせるために、カンパチの生育条件と錦江湾月別水温を関連付けて、錦江湾で養殖している理由を話し合わせる。(②) ⑦ VTR（カンパチ産卵のイメージ） ● 養殖漁業者の思いや願いを共感的にとらえさせるために、様々な工夫や努力をして取り組んでいる養殖漁業者の思いや願いを類推させ、話し合わせる。(③) ○ 次時の問いを焦点化させるために、海に稚魚を放流する写真を提示し、「なぜ、生け簀がいないのに、海に稚魚を放流させるのか。」という問い養殖漁業との違いから、栽培漁業に従事する人々の取組に対して問題意識をもたせる。	1 本時の追究課題を具体化する。 養殖漁業に従事する人々は、どのような工夫や努力をしているのだろうか。 2 学習の進め方を確認する。 ○ 追究の進め方：一人調べ→全体での話し合い ○ 資料：教科書、資料集、個人でまとめた資料 3 養殖漁業に携わる人々の工夫や努力について調べる。 4 養殖漁業に携わる人々の工夫や努力について話し合う。 垂水市のカンパチの養殖漁業の様子 (①) 【環境面を考えた工夫や努力】 ・えさを固形化する 【安定した供給する工夫や努力】 ・いけすごとに時期をずらす 【おいしく育てる工夫や努力】 ・えさにこだわる 安全、環境、おいしさなどを考えた様々な工夫や努力 (③) 養殖漁業に従事する人々の思いや願い ○ 消費者に、いつでも安心安全なおいしいカンパチを食べ喜んで欲しい ○ 自分が県内に育てたカンパチをたくさん売りたい 6 本時についてまとめる。 養殖漁業に従事する人々は、安全、環境、おいしさなどを考えた様々な工夫や努力をしている。 7 次時の学習について話し合う。 ○ 栽培漁業について 8 本時の学習の振り返りを交流する。	1 6 7 9 5 3	1 本時の追究問題と学習の進め方を確認する。 元軍と戦いは、鎌倉幕府にどのような影響を与えたのだろうか。 2 元との戦いについて調べる。 ○ 戦いの様子 ○戦いの経緯 3 元との戦いやその影響について話し合う。 (1) 元との戦いの様子について話し合う。 元との戦い（文永・弘安の役） 【鎌倉幕府】→全国の武士を動員 【元軍】 ・集団戦法・毒矢 ・火薬兵器・身軽な服装 ① 【日本軍】 ・一騎打ち・防具 ・弓矢、刀・鎧兜 武士の抵抗や暴風雨、士気の違いにより撤退 ② 恩賞を得るため 一所懸命戦う 武士の働きにより元軍を退ける (2) 元との戦いの影響について話し合う。 元との戦いの影響 鎌倉幕府 恩賞（領地）が欲しい 元との戦いでは領地が手に入らないため、恩賞（領地）を与えられない ③ 武士（御家人） ④ 武士の幕府に対する不満 幕府の力が弱まる 4 本時についてまとめる。 鎌倉幕府は、一所懸命に戦った武士に、十分な恩賞を与えることができなかったため、主従関係が崩れ、力が弱まっていった。 5 学習の振り返りを交流する。	④ 図（元軍と日本軍の規模） ⑤ 当時の東アジアの勢力図 ● 元軍との戦いが幕府に与えた影響について問題意識をもつて意欲的に追究できるようにするために、ガイド役を中心に、前時の学習を想起させ、学習問題を設定した理由を話し合わせる。 ⑥ 絵図（蒙古襲来の絵詞） ● 元軍との戦いの様子をとらえさせるために、蒙古襲来絵詞の絵図を提示し、戦いや武器に着目させ、日本軍と元軍を比較し、気付いた差異点を話し合わせる。(①) ⑦ 写真（石塁） ○ 武士が恩賞を得るために一所懸命に戦ったことと一所懸命に戦ったために実物大の石塁の写真とを提示し、構築の大変さに気付かせ、武士が命がけで戦った理由を考えさせる。(②) ○ 外国との戦いによって新しい領地を手に入れることができなかったという幕府の背景をとらえさせるために、武士が幕府に恩賞を与えられなかった理由について、戦った国の位置と関連付けて話し合わせる。(③) ⑧ 図（幕府と御家人の関係） ● 幕府と武士の関係と元との戦いとの関連付けて、武士の幕府に対する不満が高まり幕府が衰退していったことを考えることができるようにするために、「恩賞をもたせられなかったことがあった武士は、どのように思ったのだろうか。」と問い、武士の思いを話し合わせる。(④)